



2022年11月10日

各 位

会 社 名 株式会社ダイドーリミテッド
 代表者名 代表取締役社長執行役員 鍋割 幸
 コード番号 3205 (東証スタンダード・名証プレミア)
 問合せ先 執行役員 経理財務部長 白子田 圭一
 (TEL : 03-3257-5022)

連結業績予想に関するお知らせ

2022年8月9日に発表いたしました「2023年3月期第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2023年3月期の連結業績予想につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回修正予想(B)	27,900	△ 1,100	△ 800	6,000	182.98
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	24,609	△ 1,771	△ 1,615	△ 3,544	△ 108.37

2. 通期連結業績予想公表の理由

2023年3月期の通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症やウクライナ情勢の影響などを合理的に算定することは困難であったため未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予想等に基づき、公表することといたしました。

新型コロナウイルス感染症の影響は一定程度残ることを想定しておりますが、影響は減少していく前提で、第3及び4四半期連結会計期間の連結売上高は前年比9%増の約150億円、通期の連結売上高は前年比13%増の279億円と予想しております。

前期に実施しました希望退職者の募集による費用削減の効果はありますが、燃料費の値上りによる製造原価の上昇や輸送コストの増加、円安による費用の増加が生じていることなどから、通期の連結営業損失は11億円、第2四半期連結累計期間において営業外収益として補助金収入を計上していることなどから、連結経常損失は8億円と予想しております。

2022年7月7日に公表いたしました「連結子会社における固定資産の譲渡に伴う特別利益の発生に関するお知らせ」に記載のとおり固定資産の譲渡を予定しておりますが、当該譲渡は不動産賃貸事業の保有資産の組み換えの一環として実施し、売却収入を活用して代替資産の取得を検討しており、資産の買い換えにより圧縮記帳する会計処理を想定しております。当該譲渡に伴い特別利益約100億円を計上する予定ですが、積立金方式の圧縮記帳により法人税等調整額が発生する見込みのため、親会社株主に帰属する当期純利益は60億円と予想しております。

なお、2023年3月期の配当予想につきましては現時点では未定とさせていただきます。今後の業績の動向を踏まえ、経営環境や内部留保などを総合的に勘案して決定し、決定次第速やかに公表する予定です。

(注) 本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであります。実際の業績等は、様々な要素により本資料の記述とは異なる結果となる可能性があります。

以上